

# 甲南大学法科大学院入学試験問題について

## － 2015 年一般入学試験（前期・本学） －

試験科目：刑法

### 1. 出題趣旨

甲と乙が、Aは死亡したと思い込んでAの財布を奪った行為について、どのように評価するか。その際、甲と乙との間で、財布についての処分に関する意思が食い違っている点をどのように考えるか。さらに、Aが倒れているところから20メートルほど離れたところで、財布を落とした事実をどのように評価するかといった点が問題となる。

### 2. 採点実感

事案は、若干複雑であるが、基本的事項についての理解が正確であるか否か、また、結論に至る過程が論理的かつ明快に示されているか否かを重視した。

### 3. 学習方法

基本的な理論状況について正確に理解するよう、判例の立場を踏まえ、体系書を素直に読み込むことが大切である。法学はもちろん暗記がすべてではないが、基本的な概念や用語については正確に覚え、意味を理解するようにしなければならない。